

タルグレチン カプセルについて

□ タルグレチン カプセル

商品名：タルグレチン カプセル 75mg

成分名：ベキサロテン（Bexarotene）

□ タルグレチンの内服開始にあたって

タルグレチン®はレチノイド（ビタミンAに似た化合物）の一種であるベキサロテンを主成分とする薬で、長期間内服していくことの多い薬です。内服を継続することが重要なので、医師・薬剤師の指示に従い、決して自己判断で中止しないようにしましょう。

今後治療を継続していく上で、この薬で出やすい副作用を理解しておくことは非常に大切です。薬のことをよく理解し、上手に付き合っていきましょう。何か異常を感じた際は我慢せず、必ず医師・薬剤師にご相談ください。

□ がん細胞に対するタルグレチンのはたらき

タルグレチンはがん細胞を減らしたり、増殖を抑えたりすることにより、皮膚の悪性リンパ腫（T細胞性リンパ腫；菌状息肉症など）の病勢進行を抑える薬です。

□ 服用上の注意

- ・食後、毎日大体同じ時刻に内服してください（医師の指示通り）。
空腹時と食後で、薬の効き方が違います。必ず食後に飲むようにしてください。
- ・薬を飲み忘れた場合
その日のうちに飲み忘れに気づいたのであれば、次の食事の後に飲んでください。翌日以降に服用忘れに気づいた場合は、その分は飲まず、一日分のみを飲んでください。決して2回分を一度に飲まないでください。

□ 副作用とその対策

比較的出やすく注意が必要な副作用

- ・下垂体性甲状腺機能低下症
甲状腺の機能低下が起きることが多く、甲状腺ホルモンが減少する場合は甲状腺ホルモン補充療法を行います。チラーチン®などといった、錠剤を内服します。
- ・脂質異常症、高トリグリド血症
血液中のトリグリセリド値が高くなったり（高トリグリセリド血症）、LDL コレステロールが上昇したりすることがあります。状態によっては脂質異常症治療薬を内服する場合があります。

その他の副作用

- ・白血球減少、好中球減少、貧血；血液の成分である白血球が赤血球などが減少することがあります。
- ・肝機能障害；肝臓の機能に異常が出る場合があります。
…採血により血液の状態を確認していきます。
- ・光線過敏症；普通に生活する分には問題ありませんが、過度な直射日光は避けてください（日光浴など）
- ・その他、白内障、感染症、間質性肺炎などが起きることがあります。体調に変化があれば伝えてください。

□ 保管上の注意

- ・直射日光を避け、室温で保管してください。
- ・妊婦が誤って飲むと胎児に奇形が生じる恐れがあります。他の人が誤って飲むことがないように、注意してください。

ご不明な点につきましてはお気軽にお尋ねください。わたしたちがサポートします。

静岡市立清水病院 薬剤部 電話番号 054 - 336 - 1111（代表）

《 医療機関の方々へ がん薬物療法に関するご説明・同意取得済みです 》

